

2018年5月23日

どこかで一度書いていたかも知れないが、地球内部のマントル対流が変化してしまったのではないかと考えている。これまでマントル対流は安定な一状態を保ってきたと思われる。このためアメリカ西海岸近海でマントルの湧きだしが起こり、これを海嶺と言っているようだが、太平洋海底の地殻が日本海溝に向けて拡大、移動していると言われている。この近くの沈み込む場所が日本近海の手海溝、トラフであり日本本土の直下に地殻が日本直下に潜り込んでいる。この力のため日本列島では大小の地震が頻発し、またこの圧力により発生した熱による火山噴火が多発していると言われている。これらは過去数百万年以上安定したマントル対流が維持されてきたため日本列島の自然現象がつくられて今日に至ると思われる。世界各地を見てもこのマントル対流は安定に推移しており、よく言われる大陸移動が起こったと言われている。大陸はこうした地球内部の安定したなマントル対流により形成されたと言われる。しかしながら最近の地球上に起こっている現象を見ると、どうもマントル対流の安定状態が変化したのではないかと考えられる。こうした安定状態の変化は長い時間をかけて起こるのではなく、たぶん突然起こるのだろう。よくガラス容器でお湯を沸かしているときに見られる対流が、しばらく安定した状態で起こっているが何かの拍子で例えば5か所の対流が6か所の対流に突然変化する。変化が起こった後はまた今度は6個の安定した対流が維持される。こうした安定点も変化は突然起こると思われる。この安定点の変化の原因は今のところよくわからないが、いずれにしても地球内部のマントル対流がすでに変化したのではないかとと思われる。この変化により生じた地球の歪を解消するために、過去大陸の移動が起こったりしたのだろう。そして今新たに安定状態が変化した地球ではこれを裏付ける様な傍証となる現象が多発し始めた。例えば磁極が特に最近速いスピードで移動している言われている。これはまさにマントル対流の安定点の変化による是正段階にある現象だろう。また世界のあちらこちらで近くが隆起したり陥没したりもしている。今後ますます世界中で近く変動が起こるだろうと思われる。これに伴う地震、火山噴火等が活発化していくと思われる。特にこれまで大きな地震が起こらなかった場所とか、火山もこれまで噴火が見られなかった火山の噴火も起こると思われる。このところ海流の温度が上昇していることも、地球寒冷化に向かって起こっている。これは海底の温度が上がったためではないかと思われる。当然海流によって変化する気候の変動も激しさを増すと思う。いずれのしてもこうした地球の状況を見ていると、しばらく地球内部の歪が解消されない限り続くと思われる。大陸の変動もあるかもしれない。しばらく要注意だ。今起きている異常事態というものもこうしたマントル対流の安定点の変化したことによると考えると合点がいくのではないだろうか。こうした観点から今後の地球の変化を考えていく必要があるのではないだろうか！とりあえず地球の変動の原因について考えた。